

## 公衆衛生看護学概論

2 単位 (選択) 2 年

### Introduction to Public Health Nursing

多田 敏子・教授 / 保健学科 看護学専攻 地域・精神看護学講座

【授業目的】 公衆衛生看護活動の理念 (原理・原則) を理解する。地域住民を捉える視点および予防的視点から健康水準の向上をめざす保健師の役割を理解する。

【授業概要】 地域で行われている一次予防から三次予防を目的とした健康支援のための地域保健活動における看護の理論、保健師の役割、機能について教授する。

【キーワード】 地域、住民、公衆衛生、保健師、ヘルスプロモーション

【先行科目】 『地域看護学概論』 (1.0)

【関連科目】 『保健学概論』 (0.5)

【到達目標】 公衆衛生看護学の理念・目的を理解する。

【授業計画】

1. 公衆衛生看護の定義と活動目標
2. 公衆衛生看護活動を推進するために必要な能力
3. 保健師の法的位置付けと役割
4. ヘルスプロモーションの概念
5. 公衆衛生看護の歴史
6. 公衆衛生看護の歴史
7. 地区活動の基本と対象のとらえ方
8. 地区活動の基本と対象のとらえ方
9. 地区活動の基本と対象のとらえ方
10. 地区活動の計画づくり
11. 地区活動の計画づくり
12. 地区活動の展開
13. 地区活動の展開
14. 行政組織のなかでの公衆衛生看護活動
15. 行政組織のなかでの公衆衛生看護活動
16. 公衆衛生看護活動の基盤となる理論 (コミュニティアズパートナーモデル)
17. 公衆衛生看護活動の基盤となる理論 (コミュニティアズパートナーモデル)
18. 保健指導論
19. 保健指導論
20. 家族相談援助論
21. 家族相談援助論
22. 地域診断の実際
23. 地域診断の実際
24. 地域診断の実際
25. 地域における看護研究の展開

26. 地域における看護研究の展開

27. 地域における看護研究の展開

28. 授業のまとめ

29. 授業のまとめ

30. 試験

【成績評価】 レポート (A4 版 2 枚以内)(20%)、定期テスト (80%) で総合的に評価する。再試は 1 回のみとする。

【教科書】 標準保健師講座 1 - 3 地域看護学概論、地域看護技術、対象別地域看護活動、医学書院

【参考書】

◇ 保健師業務要覧 (日本看護協会保健師職能委員会)

◇ 国民衛生の動向、厚生労働白書

◇ コミュニティ・アズ・パートナー、医学書院

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219878>

【連絡先】

⇒ 多田 (保健学科棟 3 階, 088-633-9033, [tada@medsci.tokushima-u.ac.jp](mailto:tada@medsci.tokushima-u.ac.jp))

MAIL (オフィスアワー: 火曜日 16:00-18:00)